

患者さんパンフレット

四国がんセンター
泌尿器科



人工尿道括約筋埋め込み術を 受けられる方へ

さま



病棟

主治医

受け持ち看護師

私たち医療スタッフは

- I. 入院や手術に対する不安を軽減し、最良の状態です手術が受けられるようにお手伝いいたします

- II. 手術後の苦痛を軽減し、合併症を起こさず順調に回復され安心して退院を迎えられるようお手伝いいたします



手術までに準備していただきたいこと

- 他の病院で処方され、現在服用しているお薬がある方は、入院時に必ずお持ちください（入院中は原則、他の病院の受診ができないため、入院期間を含め余裕をもってお持ちください）
- お薬手帳をお持ちの方は、入院時に必ずお持ちください
- サプリメントを飲んでいる方は必ずお申し出ください

<以下のものは病院で貸し出し、購入もできます>

- ねまき
 - 術衣（手術後用）、病衣
 - バスタオル 2枚
 - タオル 2枚
 - ティッシュペーパー 1箱
- 「CSセットのご案内」冊子を参考にしてください

- 紙おむつ（マジックテープ式） 2枚
- コップ、曲がるストローまたは吸い飲み
- 水のペットボトル 500ml 1本

<ご自宅からお持ちください>

- ビニール袋 3枚
（靴、パジャマ、下着などを入れるために使います）
- 普段使用している紙おむつ、尿とりパッドなど

「入院される方へ」のパンフレットを参考にしてください



*病衣は普段よりひとサイズ大きいものを準備してください

*ICUに入室する方は、タオル、バスタオル、ティッシュペーパーなどご自身の持ち物に氏名をお書きください

※同意書などは忘れずにお持ちください

医療品ショップ くろ〜ば〜

場所 2階 中央処置室前
営業時間 8:30~17:00
定休日 土・日・祝日・年末年始
電話 (089) 999-1129



ダイアリー

このパンフレットには、当院での標準的な治療や日常生活で注意していただきたいポイントなどを記載しています

また、日々の目標として患者さんご自身の目標をあげ、さらによりよい状態で退院を迎えられるよう医療スタッフの目標もあげています

入院は約1週間の予定です

手術後の回復は、個人差があり、体の状態によっては予定どおりにすすまないこともあります。その都度対応していきますので、ご安心ください

私たち医療スタッフは、これからの入院生活が不安なく送られるようにサポートさせていただきます





今日の目標

- ・入院生活、手術について医療スタッフの説明が理解できる
- ・手術の準備をすすめることができる

<時間>

<予定>

11:00	入院	<p>【入院後に以下のことを予定しています】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護師から病院内、病棟内、入院生活の説明、手術前後の予定の説明、必要物品の確認 (テレビの病院案内も参考にしてください) ・検温、血圧測定、身体測定
12:00	昼食	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡先、既往歴、生活習慣などの聞き取り ・術前呼吸訓練、機能訓練 ・医師より手術の説明があります ご家族の方も一緒に説明をお聞きます ・説明を聞いた後、納得し同意できれば同意書にサインをし、看護師にお渡しください ・手術室の看護師から説明があります ・わからないことやもう少し詳しく説明を聞きたいことなどが ありましたら、遠慮なくお尋ねください ・おへその掃除や必要時毛そりをします ・シャワー浴をしましょう
18:00	夕食	<p><お薬></p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の病院で処方されたお薬については、一度お預かりし 医師に確認後、続けるか、中止するかをお伝えします ・手術当日に服用する薬がある場合は、看護師よりお知らせします <p><食事></p> <ul style="list-style-type: none"> ・食物アレルギーのある方は医療スタッフにお知らせください ・特に制限はありません ・基礎疾患（糖尿病・高血圧等）がある方は、治療食となる場合があります
21:30	消灯	<ul style="list-style-type: none"> ・21時以降は絶食です ・眠れない場合は安定剤を服用することができます

★水分について★

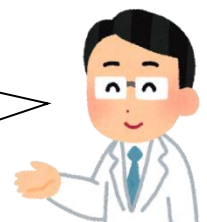
午前手術の方は翌朝3時まで

午後手術の方は翌朝7時まで

水やお茶のみ、飲むことができます

医療スタッフの目標

- ・安心して入院生活を送られるよう支援します
- ・手術の準備をすすめられるよう支援します



手術に備えての練習

体を動かすことにより、痰を出しやすくし、血液循環を良くして傷の治りを早めます

また、腸の動きを良くして、ガスを出すなど回復を早めることができます

●深呼吸

- ①仰向けに寝て全身の力を抜きます
- ②鼻から大きく息を吸います
- ③口からゆっくりと息を吐き出します

吸う息より吐く息の方を長めにしましょう



●痰の出し方

- ①傷口を手で押さえる、あるいは脇をしめて、小さな咳を2～3回して、徐々に痰を上に向けていきます
- ②最後に少し大きな咳をすると楽に痰を出せます

●うがい

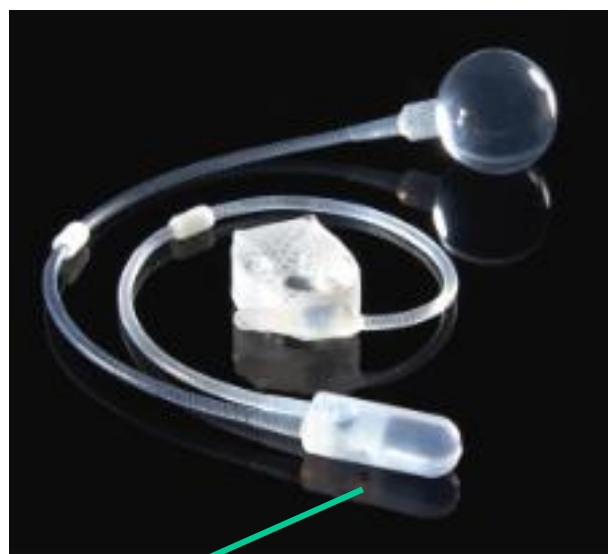
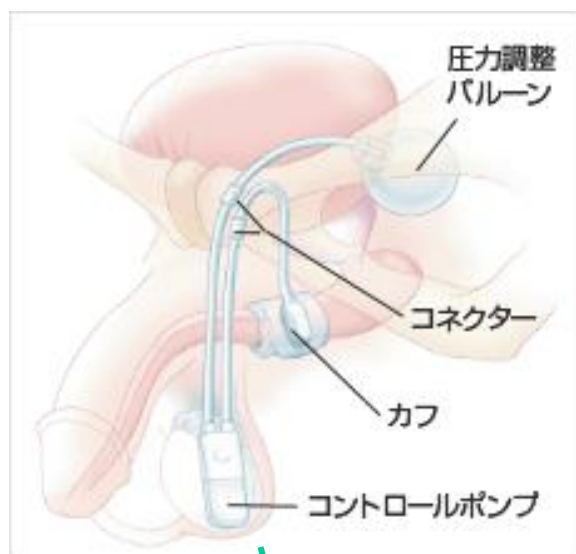
うがいをすることにより、口の中を清潔にしましょう

痰も出しやすくなります

- ①寝たままで顔を横に向けて、うがいをします
- ②静かに舌で流しだすようなイメージで水を吐き出します

このとき飲み込まないように注意しましょう

人工尿道括約筋について



手術後はコントロールポンプの位置が陰のうからずれないように調整（けん引）する必要があります
1日2回はポンプを下に引きおろし、陰のう内にあることを確認しましょう

MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう



手術前の目標

・予定どおりに手術を受けることができる

引き続き**絶食**です
 ★水分について★
 午前手術の方：3時以降
 午後手術の方：7時以降
水分摂取はできません

<時間>

<予定>

6:00 起床
 検温、血圧測定

7:00 医師の指示がある方は少量の水でお薬を服用します
 【薬剤名： 】

手術開始が9時以外の方は点滴を行います

手術30分
 ~1時間前

洗面、歯磨き、ひげそり、トイレを済ませてください
 お渡しする**手術衣**に着替えます
 手術時に貴金属を身に着けているとやけどをすることがあります
 安全に手術を行うために以下のものは全て外してください

	<input type="checkbox"/> 入れ歯		<input type="checkbox"/> 腕時計
	<input type="checkbox"/> コンタクトレンズ		<input type="checkbox"/> イヤリング・ピアス
	<input type="checkbox"/> 磁気製品・湿布		<input type="checkbox"/> ネックレス
	<input type="checkbox"/> かつら・ウィッグ		<input type="checkbox"/> 指輪
	<input type="checkbox"/> お化粧		<input type="checkbox"/> ブレスレット
	<input type="checkbox"/> つけまつげ		<input type="checkbox"/> ヘアピン
	<input type="checkbox"/> マニキュア		<input type="checkbox"/>

※眼鏡をかけて手術室に行く場合は、眼鏡ケースをご準備ください
 ※貴重品は、ご家族の方が保管してください

検温、血圧測定

手術
 5分前

看護師と一緒に（ 歩行 ・ 車椅子 ・ ストレッチャー ）で
 手術室へ行きます
 ご家族の方の付き添いは、エレベーターホールまでとなります

医療スタッフの目標

・予定どおりに手術が受けられるよう支援します



ご家族の方へ

手術当日は（ ）時までに病棟にお越しください
手術中は、必ず院内でお待ちください（2階フロア・4階家族控え室など）
必ず所在を明らかにし、連絡が取れるようお願いいたします
手術後、主治医から手術の結果について説明があります
他の患者さんの手術の関係で、手術後すぐに説明できない場合は
お待ちいただくことをご了承ください

病室にて付き添いを希望される場合には、医師の許可が必要となりますので、
看護師にお申し出ください
布団のレンタルを希望される場合は、2階 医療品ショップ「くろ〜ば〜」
でお尋ねください

MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう



手術後の目標

- ・痛みを我慢せず、医療スタッフに伝えることができる
- ・吐き気がない

手術後は、時間を決めて以下のことを行います

検温、血圧測定、状態観察

- ・帰室時、帰室後15分、30分、1時間、以後1～2時間ごとに行います（これ以外にも必要な時に測定します）

深呼吸

- ・目が覚めたら大きく深呼吸をしましょう

うがい

- ・ベッドに横になったまま行います（看護師がお手伝いします）
- ・医師の許可があるまで、飲水はできません

活動

- ・ベッドの頭もとを少し上げます
- ・足の屈伸や膝立、腕の運動は、痛みがない程度に自分で行いましょう
- ・体を横向きにするときは、看護師がお手伝いします

手術後の傷

- ・傷口はテープでとめています
- ・傷口のテープは、数日は貼ったままで傷の観察をします

痛み

- ・痛みは我慢する必要はありません
- ・痛みが強い場合は追加で痛み止めを使います

医療スタッフの目標

- ・手術後の合併症の早期発見に努めます
- ・床ずれの予防に努めます



手術後の患者さんの様子

心電図モニター

- 手術後の状態を安全に管理します
- 血圧を測定するための点滴の管が動脈に入っています

血圧計

- 適宜測定します

酸素マスク

麻酔が完全に覚めるのを助け、手術後の呼吸状態を安定に保ちます

酸素濃度測定器

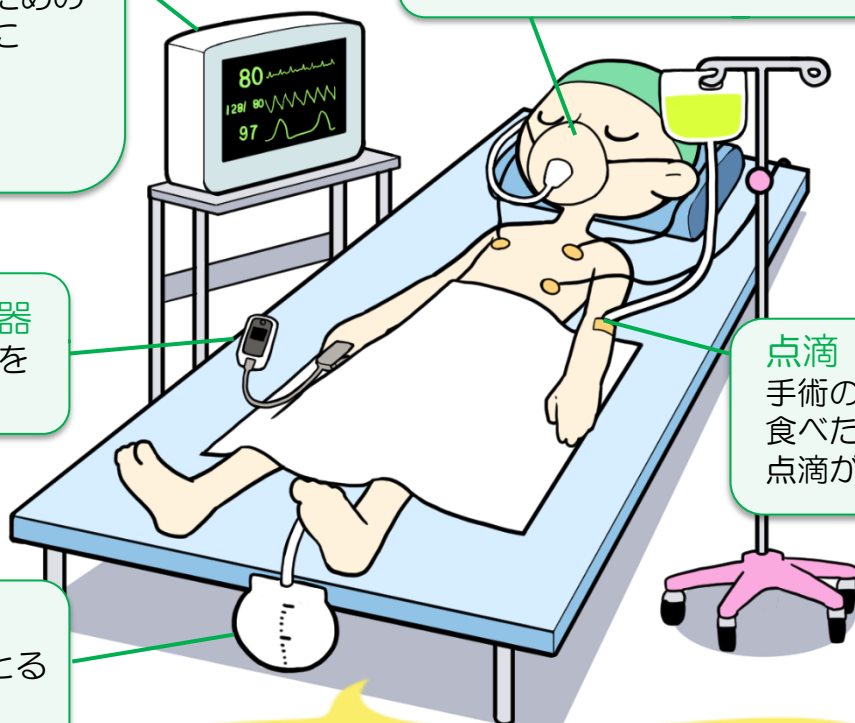
体の酸素の状態を観察します

点滴

手術の後は飲んだり食べたりできないため点滴があります

尿の管

手術中に尿をとる管が入ります

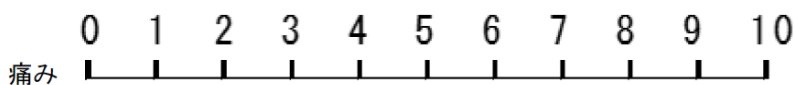


急に動くとチューブ類が抜ける場合がありますので、体の向きを変えたいときは看護師にお知らせください

手術後の痛みについて

手術後の痛みについては、痛みの程度を看護師が数字でお聞きします（NRS）
数字での表現が難しいときは、フェイススケールでお答えください

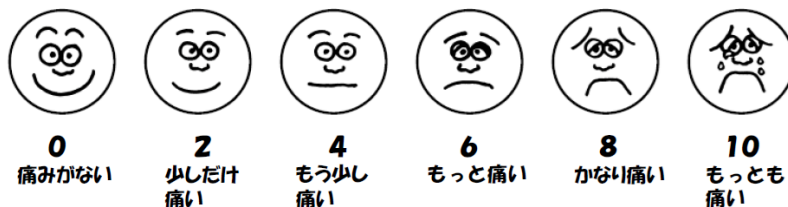
1) NRS



全く痛くない

これ以上耐えられないほど
ひどい痛み

2) フェイススケール



手術後1日目 月 日



今日の目標

- ・痛みを我慢せず医療スタッフに伝えることができる
- ・午後よりベッドの横で立つことができる
- ・看護師と廊下を歩くことができる

<時間>

<予定>

6:00

起床
血液検査
温かいタオルをお持ちします
ベッドに座って洗面、歯磨きをしましょう

酸素吸入を終了します（6:00～8:00頃）

9:00

心電図モニターを外します
回診

体を拭き、着替えをします（看護師がお手伝いします）



12:00

昼食（全粥）

13:00

ベッドの横に立ち、少し歩いてみましょう

- ・手術後初めて立ったり歩いたりするときは、必ず医師または看護師と一緒にいきます
- ・尿の袋は下腹より下にしましょう

14:00

検温、血圧測定

- ・点滴は本日で終了です
- ・本日から1週間抗生剤の内服薬があります

18:00

夕食（全粥）

19:00

検温、血圧測定

21:00

洗面、歯磨き

尿の管を固定しているテープが、はがれていないか確認しましょう
はがれたら看護師にお知らせください

21:30

消灯



医療スタッフの目標

- ・手術後の合併症の早期発見に努めます
- ・床ずれの予防に努めます




今日の目標

- 排尿がある
- 痛みを我慢せず、医療スタッフに伝えることができる
- コントロールポンプを下に引きおろすことができる
- 1日2000mlを目安に水分をとることができる
- 転倒しない

<時間>

<予定>

6:00	起床 検温、血圧測定		水分をしっかりととりましょう
7:30	朝食 抗生剤を服用しましょう		病棟内の歩行に制限はありません 廊下を歩いて、体を動かすように しましょう
9:00	回診 手術の傷に貼ってあるテープをはがします 尿の管を抜きます		
10:00	検温、血圧測定		
12:00	昼食		朝夕2回は、 コントロールポンプを触って 下に引きおろしましょう
14:00	検温、血圧測定 シャワー浴をしましょう 手術後の傷はこすらず、石けんを泡立てて優しく洗いましょう 体調に合わせて体を拭くこともできます		
18:00	夕食		尿の管が抜けたら・・・ • 尿の色（血尿の程度）や量についてうかがいます • 手術前と同じように尿失禁が起こります • 尿の管を抜いた後に『尿失禁がなくなった』または『症状が軽くなった』ときは、医療スタッフへお知らせください
19:00	検温 血圧測定		
21:30	消灯		

MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう

パッド交換回数

正の字で回数を記入しましょう

医療スタッフの目標

- 手術後の合併症の早期発見に努めます



尿の管が抜けた後の注意すべき症状

- 血尿が濃くなる
- 血の塊が出る
- 尿が出にくい
- 残尿感がある
- 下腹部が張る

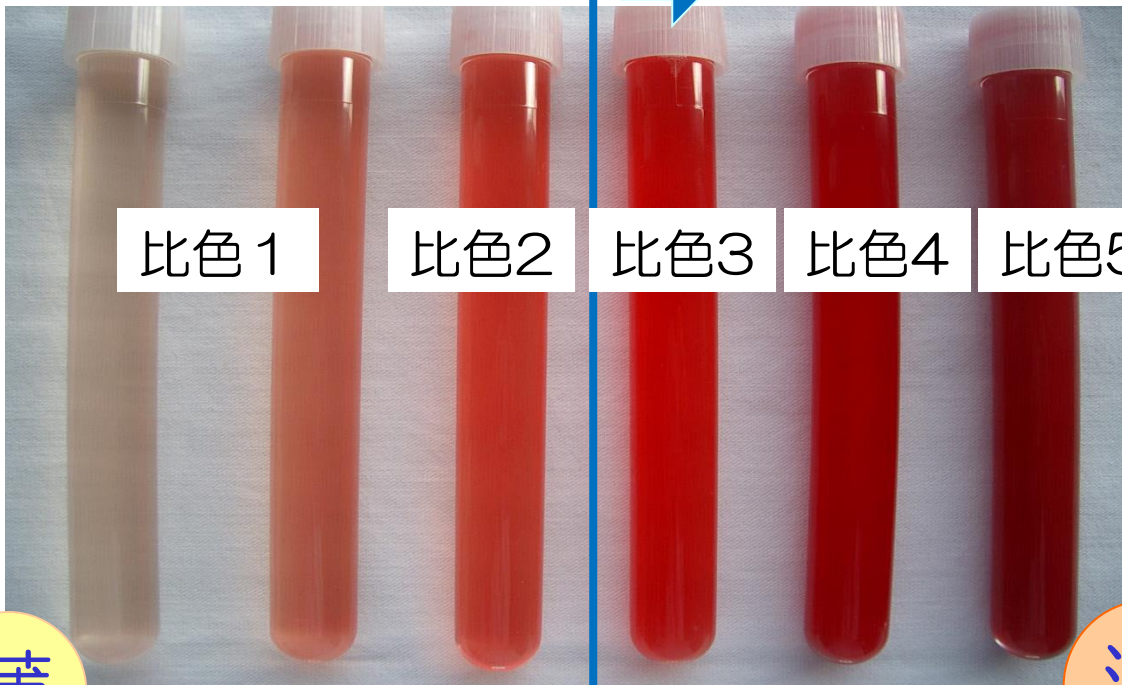
などの症状があるときは、看護師または医師にお伝えください

血尿が濃くなった場合、
カップをお渡ししますので
血尿の程度を確認してみましょう

血尿の濃さについてお聞きします
下の表を参考に、血尿の濃さ
をお伝えください



※比色3以上になったら
看護師に知らせてください



薄

濃

MEMO



気になることや症状など書き留めておきましょう

手術後3日目 月 日



今日の目標

- ・ 排尿がある
- ・ コントロールポンプを下に引きおろすことができる
- ・ 1日2000mlを目安に水分をとることができる
- ・ 転倒しない

<時間>	<予定>		
6:00	起床 検温、血圧測定		水分をしっかりととりましょう
7:30	朝食 抗生剤を服用しましょう		活動に制限はありません
9:00	回診		
10:00	検温、血圧測定		
12:00	昼食		朝夕2回は、 コントロールポンプを触って 下に引きおろしましょう
14:00	検温、血圧測定 シャワー浴をしましょう		
18:00	夕食		
19:00	検温、血圧測定		
21:30	消灯		・ 尿の色（血尿の程度）や量についてうかがいます ・ 『尿失禁がなくなった』または『症状が軽くなった』 ときは、医療スタッフへお知らせください

MEMO

気になることや症状などを書き留めておきましょう

パッド交換回数

正の字で回数を
記入しましょう



医療スタッフの目標

- ・ 手術後の合併症の早期発見に努めます
- ・ 床ずれの予防に努めます

退院前日まで ~ 月 日



今日の目標

- ・退院後の日常生活で不安なことを医療スタッフに伝えることができる
- ・コントロールポンプ下に引きおろすことができる
- ・排尿がある
- ・1日2000mlを目安に水分をとることができる

<時間>

<予定>

6:00

起床



水分をしっかりとりましょう

7:30

朝食

抗生剤を服用しましょう

活動に制限はありません

9:00

回診

朝夕2回は、
コントロールポンプを触って
下に引きおろしましょう

10:00

検温、血圧測定

12:00

昼食

シャワー浴をしましょう

18:00

夕食

- ・看護師から退院後の日常生活について説明があります
- ・尿の色（血尿の程度）や量についてうかがいます
- ・『尿失禁がなくなった』または『症状が軽くなった』ときは、医療スタッフへお知らせください

21:30

消灯

MEMO

パッド交換回数

正の字で回数を
記入しましょう

気になることや症状などを書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

- ・退院後の日常生活に不安がないよう支援します
- ・手術後の合併症の早期発見に努めます



退院日 月 日



今日の目標
・退院できる

<時間>	<予定>
6:00	起床 検温、血圧測定
7:30	朝食 抗生剤を服用しましょう
9:00	回診 「入院診療費料金連絡票」を病室にお届けします 2階窓口でお支払終了後、病棟まで連絡票をお持ちください 次回予約票をお渡しします
10:00	退院 退院前に忘れ物がないようご確認ください

昼間に水分を
しっかりとり、
夜は控えましょう



朝夕2回は、
コントロールポンプを触って
下に引きおろしましょう

次回外来受診は
月 日 () 時の予定です

* 外来受診時に検査のある場合は、事前に医師から説明があります

MEMO

気になることや症状などを書き留めておきましょう

パッド交換回数

正の字で回数を
記入しましょう



医療スタッフの目標
・退院後の日常生活に不安がないよう支援します

退院後の日常生活について

●人工尿道括約筋について

- 手術後は、尿道括約筋を緩めたまま動かさないで尿道になじませる必要があります
- 尿道括約筋を早期から動かした場合は、尿道の萎縮や炎症による括約筋の尿道内への脱出が起こりやすく、再手術が必要となる場合もあります
- **手術後は2か月程度、尿道括約筋を動かさないでください**
- 医師と相談しながら、人工尿道括約筋の使用開始時期を決めていきましょう

●お薬

- **入院中に処方された抗生剤は、自己判断で中止せず必ず飲み切ってください**
- 薬の処方がある方は、医師の指示どおりに服用してください
- 他の病院の薬を服用する場合は、医師に相談してください

●排泄

- 尿もれの回数（パッド交換回数）が手術前に比べて大きく減っていないか確認しましょう
- **退院後、約1か月間は尿に細菌がつきやすくなっているため、1日2000mlを目標にしっかり水分をとりましょう**

●入浴

- 体を清潔に保つことが大切です
- 毎日入浴またはシャワー浴をするよう心がけましょう
- 傷のまわりも、やさしく石けんで洗ってください



●食事

- バランスのよい食事をするようにしましょう



●活動

- 傷に負担がかかるため、バイクの運転は約1か月間、自転車の運転は約2か月間は控えましょう
- 自動車の運転には制限はありません
- 規則正しい生活をして、適度な運動をしましょう
- 活動について迷うことがあれば、入院中に医療スタッフへご相談ください

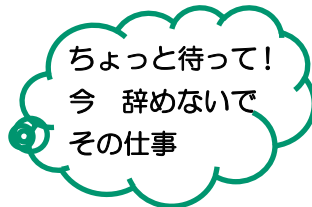


●仕事

- これから先、安心して働き続けるためには、体の状態に合わせた休み方や働き方が必要になることもあります
- 病院では、患者さんの「働きたい！」をサポートしています
私たちと一緒に考えていきましょう



ちりょうさ
厚生労働省『治療と仕事の両立支援』キャラクター



【相談窓口】

がん相談支援センター相談員
• 医療ソーシャルワーカー、看護師

<出張相談>

• ハローワーク松山就職支援ナビゲーター
• 両立支援促進員（社会保険労務士）

- ご相談は、がん相談支援センターへお問い合わせください

●その他

- 定期受診は必ず受けましょう
- 1日2回はコントロールポンプを下に引きおろし、陰のう内にあることを確認しましょう
- 患者カードは財布などに入れて、常に携帯しましょう
- 急変時や緊急時含め他の医療機関を受診する際は、患者カードを提示しましょう
※ポンプを作動させたまま、尿の管を挿入すると尿道を損傷する恐れがあります
- 約2か月後に再度入院し、人工尿道括約筋を作動させ、ポンプの操作方法を練習します

MEMO

気になることや症状などを書き留めておきましょう





- 尿の出にくさがだんだん強くなる時
- 傷または陰のうに赤みや腫れ、発疹がある時
- 傷または陰のうに異常な痛みや持続する痛みがある時
- 1日2000ml程度の水分をとっても血尿が続く時
- 38.0℃以上の熱が出た時
- コントロールポンプの位置が見つけれない時

上記のような症状がある場合やその他ご心配なことがある場合は、
がん相談支援センターにご連絡ください

◆四国がんセンターの連絡先◆

【平日】 8:30~17:15
四国がんセンター がん相談支援センター
(直通番号) 089-999-1114

【平日上記時間外および土・日・祝日】
日直/夜間当直師長
(代表番号) 089-999-1111

* 外来受診日や検査予約日の変更については、
予約センターにご連絡ください

【平日】 8:30~17:15
(直通番号) 089-999-1112



人工尿道括約筋埋め込み術を受けられる方へ